

❁ 4月28日以降、久々のNEWS発行となります ❁

■ 宮城野の里 5月末で福祉避難所マルフクが閉鎖されます ■

まずは、この間の経過から報告をさせていただきます。

会員みなさんに、「宮城野の里への人的支援受付を一旦休止とさせていただきます」(4月28日付)と連絡した時点では、5月22日までの期間、一日にだいたい2~4人の体制でマルフクへの支援体制をつくることができていました。(支援に訪れてくださった方が、HP「交流のひろば」に写真入でマルフクの様子を書き込んでくださっていますのでご覧になってください。みなさん、どうもありがとうございました！！)

今月半ば、小野施設長より「22日以降、月末までの支援体制を整えて欲しい」との連絡を再度いただき、かねてより「支援が必要なことがあれば声をかけてください」とおっしゃってくださっていた、北海道のフルーツ・シャトーよいちさんに急遽お願いをして、今月21日から31日までの約10日間、職員さん2名を派遣いただくことになりました。(よいちのみなさん、急な勤務調整本当にありがとうございました。)

そして今月18日、小野施設長より以下の内容で連絡をいただきました。

「福祉避難所は、現在も8名(うち家族3名)の方が入所しています。1名が特養入所の返事待ちで、2名がアパートを探しているところ、認定結果待ちの方が2名という内訳です。認定結果待ちの2名については、最悪入所できる場所がなければ、ショートでの対応にしようと考えております。こうした状況ですので福祉避難所については5月31日で終わりにしようと考えています。21・老福連の皆様には多大な支援をいただきました。ありがとうございました。」



31日までの期間は、フルーツ・シャトーよいちさんから派遣いただいている2名の職員さん(菊地さん・成田さん)と、コーディネーターとして入ってくださっている相馬さんたちでマルフクのサポートを続けていただき、以降は老福連からの人的支援も「終了」とさせていただきたいと思います。

今回、宮城野の里に急遽設置された福祉避難所【マルフク】への人的支援は、老福連を通して協力してくださった方だけでも58名にのぼり、延べ日数で203日となりました。(※今回の人的支援は全日本民医連さんと連携の下に取り組んだ関係で、民医連さんルートで直接現地入りされた方も大勢いらっしゃいます。この数字はあくまで老福連から支援に入っていた人数をカウントしたものととなります。) あらためまして、会員みなさまのあたたかいお気持ちに厚く御礼申し上げます。

言うまでもなく、被災地への支援はまだ今後とも継続して必要となります。これからも必要に応じてNEWSの発行は随時おこなってまいりますのでよろしくお願いいたします。

■ 「カンパの呼びかけ」の期間を延長します！ご協力お願いいたします ■

◎ 本日時点で687万円のカンパをいただいています。ありがとうございます！

3月15日にカンパの呼びかけをおこなって以降、当会には本日までに687万円693円が集まっています。今回は被災エリアが広範囲に及ぶこともあり、有効な用途については判断が非常に悩ましい部分もありましたが、なるべく早く現地で活用いただくことを優先し幹事会でも討議をした結果、以下のような形で被災地の施設へ直接送金をおこないましたので会員みなさまにご報告申し上げます。

◇ 山形(山形市):やまがた市民福祉会⇒100万

◇ 茨城(水戸市):翠清福祉会⇒100万

◇ 福島(郡山市):くわの福祉会⇒100万

◇ 福島(福島市):わたり福祉会⇒100万

◇ 宮城(仙台市・宮城郡利府町):宮城厚生福祉会⇒200万

※補足：茨城(水戸市):翠清福祉会への入金は本日おこなう予定にしておりますが、それ以外の四法人には5月13日の時点ですでに送金を終えております。

◎ カンパの呼びかけを継続しますので、引き続きご協力をお願いいたします

今回の東日本大震災による影響は、日が経って会員施設の状況が詳細にわかるにつれ、東日本全体に及んで建物被害を及ぼしていたということが明らかになってきました。

当会の会員施設においても、茨城県水戸市の翠清福祉会・ケアハウスみとでは、建物被害の修繕費用が見積もりだけでも一千万円を超えるという事態になっており(法人内の老健では二千万円以上の修繕費が必要)、また、群馬県高崎市の新生会でも、法人内の軽費老人ホーム(B型)で建物に大きな被害が生じているなど(修繕はすでに終了)、被害の実相が次々と明らかになっています。

また、被災地である東北においては、施設・建物の被害のみならず、地域を含めた意味での復興や、被災をした職員の生活再建問題など、今後も継続的に金銭的負担が必要なことは言うまでもありません。

こうした状況を鑑みて、4月末までとしていた当会からの「カンパの呼びかけ」を、当面9月末まで延長し、みなさまから引き続きご協力をいただきたいと思います。

なお、今回あらためて募るカンパの用途等につきましては、現地や幹事会とも調整の上、追ってご相談させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

◎ カンパの送金先についての情報

カンパの振込先は以下にお願いいたします。(通信欄に「カンパ」と記載してください)

■ 郵便局振込口座 00950 = 5 = 108908 (名義) 21老福連

なお、受領書などが必要な場合は別途老福連事務局までメール(roufuku@siren.ocn.ne.jp)及びFAX(075-494-1135)で連絡をお願いいたします。

また、上記、郵便局からの振込が難しい場合は、下記銀行よりお願いいたします。(銀行からお振込いただく場合は、会費納入との区別がつくよう、振込日・金額・団体名及び施設名をメールでご連絡ください。)

■ 銀行口座：京都銀行 金閣寺支店 普通 3705578 (名義) 21老福連 代表 廣末利弥



◎ 協力いただいた会員みなさんに、現地からカンパのお礼が届いています

❖ やまがた市民福祉会より：このたびは当地の地震につき、早速ご丁重な高額の義援金を賜り厚く御礼申し上げます。未曾有の激震に東日本全体が被害を受け、特に太平洋沿岸部では未だ復旧の緒についたばかり、という甚大な災害に直面しました。当施設は、お蔭様で21・老福連の迅速果敢なるご支援により、大地震による当初の難局を乗り越えられました。また、その後も当施設のために、大変多くの必要物資等をご提供援助いただきありがとうございました。21・老福連よりご提供援助をいただいた物資は、当施設での入居者利用者の生活に欠かせぬものとして、大変ありがたく活用させていただきました。21・老福連加盟各位の熱い志と想いに謹んで感謝申し上げます。(※以下略)

❖ わたり福祉会より：この度は多大なカンパありがとうございました。今回の震災では全国からたくさんの方の支援物資をいただき助かりました。その上、今回はカンパまでいただき、心より御礼申し上げます。全国の皆様のおかげで職員一同感謝しております。お陰さまで原発の問題はあるものの、落ち着きを取り戻しています。いただいたカンパ金は、今回の震災で破損しました箇所の施設整備に使わせていただきたいと思っております。(※以下略)